

盛岡森林管理署	
タイトル	流域における森林・林業の現状と課題
実施年月日	平成25年11月12日(火)
実施場所	岩手県紫波郡矢巾町430林班外
参加者	局署：岩手県内各森林管理(支)署 14名 外部：岩手県農林水産部、岩手県林業技術センター、盛岡広域振興局 14名 計 28名
<p>【取組の概要】 平成25年度から国有林野事業が一般会計に移行したことから、民有林施策との一体的な推進を図りつつ管理経営を進めることが重要となり、民有林との連携強化がこれまで以上に期待されているところ。 このため、民有林・国有林を通じた政策課題の解決に向け、流域毎の森林・林業の特色、実態に応じた民国双方の取組を効果的に進めるため、現地検討会及び意見交換会を実施し、県内民国関係機関の意思疎通の強化を図っていくとともに、ひいては地域における森林計画に反映していく。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在抱えている課題や取り組んでいる事業について民国双方が情報提供し、意見交換等を通じて情報の共有ができた。 ・ 岩手県内の森林・林業への対応、各地域で抱えている課題について、民国連携の取組の重要性が認識できた。 	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国有林における松くい虫の被害状況を各地域毎に公表してほしい。 ・ 松くい虫の被害を拡大させないためにも、移動制限の徹底、早期の樹種転換、マツ材の活用方法を検討する必要。 ・ カラマツの資源管理を民国とも考えていくことが必要。 ・ 県有林でも今後は有利販売を考えており、国有林の販売ノウハウの習得、システム販売への参画等を検討していきたい。 ・ 伐採から造林までを一括発注するなど低コストの造林を目指すべき。 ・ 広葉樹資源の利活用の推進を図る必要。 	
<p>【今後の課題】</p> <p>会議で取り上げられた意見や課題が、市町村森林整備計画をはじめとした様々な森林計画に反映されるよう、取り組んでいく必要がある。</p>	



開会



8/9豪雨災害地での現地説明



8/9豪雨災害地での現地検討風景



スギ低密度植栽試験地での検討風景



室内協議



室内協議